

# 2 年生 薬物乱用防止教室

## 感想紹介

6月24日（金）、大河原警察署生活安全課の熊谷さんをお迎えして、薬物乱用防止について学習をしました。この時間のめあては、薬物が人体に及ぼす有害性や社会に及ぼす影響について理解し、生涯にわたり適切な行動選択と意思決定ができる資質と能力を養うです。

生徒の感想をご紹介します。

☆今までの自分は、薬物のことはよく知りませんでした。今回の授業を受けて、誰がいつ、薬物の世界にひきずりこまれるか分からないことを知りました。また、薬物をやってしまうと2度ともとの体には戻らず、または死のケースに至ることもあるみたいなので、もしも、誘われた時は、先生に教えていただいた方法ではっきり断るようにしたいです。Sさん

☆私は、今回の授業で、薬物が危険なことが改めて分かりました。警察の方から実際にあった話を聞くと、薬物を使った人で幸せになった人は1人もいないと分かりました。1回使っただけで一生苦しい思いするのはこわいなと思いました。私は、絶対に使わないようにしたいです。

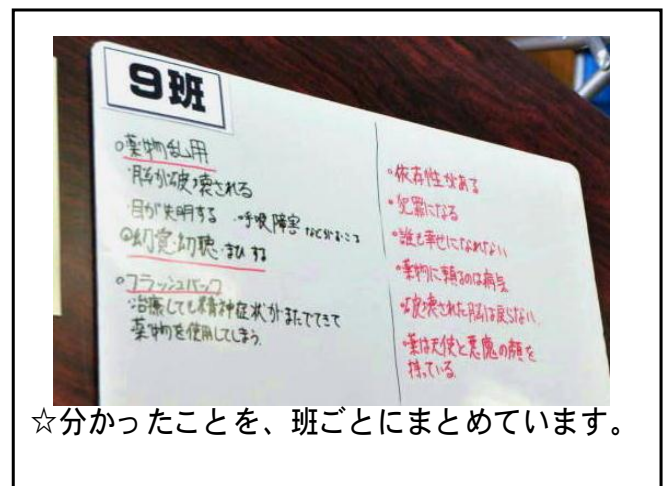
Mさん

☆私は薬物乱用防止教室を受けて、薬物をすすめられた時の断り方や薬物を使うと将来を壊してしまうことなどたくさんことを学びました。今後、薬物をすすめられた時に自分で断れるようにし、薬物に一生ふれないように気を付けて生活していきたいです。Tさん

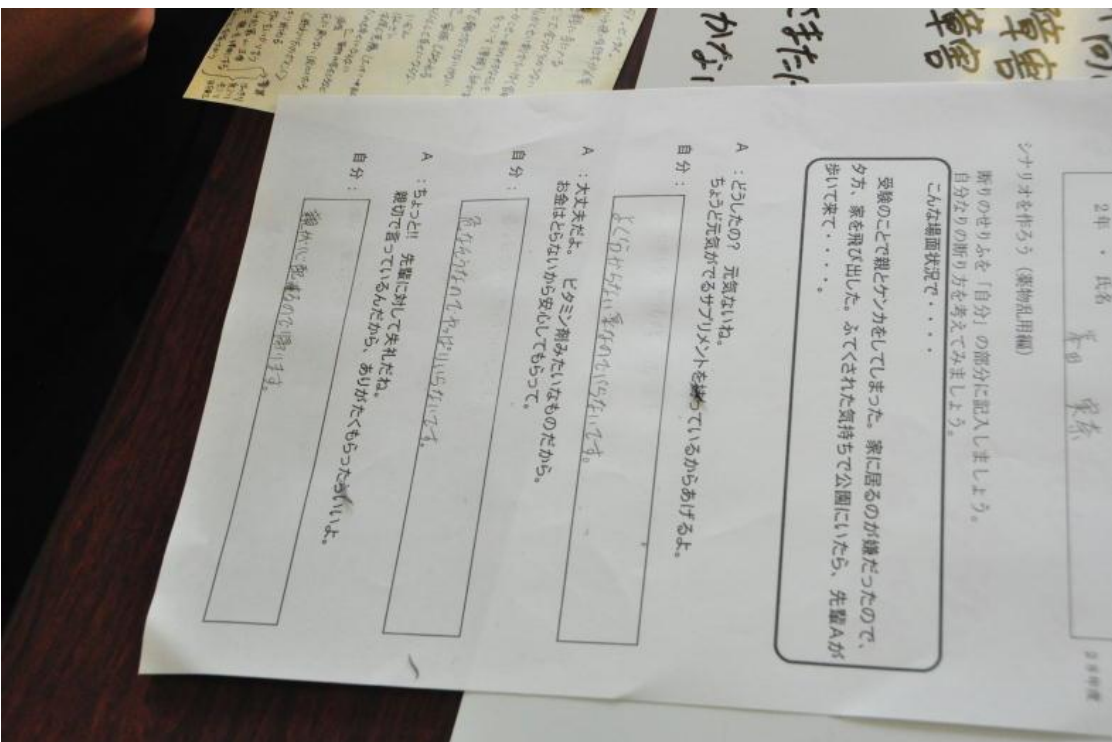
☆今回話を聞いて今後どのように行動していきたいか考えたことは、「何かを断る時は、はっきり断る」ということです。一度薬物に手を染めれば、精神的にも健康的にも体に大きなダメージがあることを知りました。また10代は子供の脳から大人の脳に変わる時期なので、大きな影響を受けることも知りました。このようなことを防ぐために、日々気持ちを強く持つ事が大事だと感じました。Sさん



☆熊谷さんから詳しく説明していただきました。



☆分かったことを、班ごとにまとめています。





**5班**

作用について

- よくせい作用
- 興奮作用
- 幻覚・幻聴作用

↓

依存性

影響

脳の破壊等。

宮城県では13人たいほ

依存性

犯罪→ちやえき、罰金をい

だれも幸せにならない。

薬物に頼る事は病気。

心も体もだめになる。

壊れた脳は戻らない

死に至る

**3班**

脳内神経物質

麻薬は依存性が高い

失明してしまう

呼吸障害

心臓障害

薬物は犯罪になる。

誰も幸せにならない。

はたいては壊れた脳内神経は元には戻らない。

死にいたる。

薬物にたよるのは、病気

**4班**

体におよぼお害

- ・失明してしまう
- ・呼吸障害
- ・心臓障害
- ・手足がふるえたり、まひある。

☆依存性が強い!!!!

- ・ちやえき、罰金
- ・薬物には天使のかおと、あさまのかおがある。
- ・誰も幸せにならない
- ・薬物にたよるのは、病気!